

# 広報 三重地域センター 令和4年7月号

長崎市役所 三重地域センター R4.6.20 No.19  
〒851-2204 長崎市三重町 1098 番地 1  
電話 095-850-1111 / FAX 095-840-1001  
メールアドレス br\_mie@city.nagasaki.lg.jp  
業務時間 平日 8:45 ~ 17:30

三重地域センター管内人口 19,931 人 (男 9,637 人 女 10,294 人) 8,440 世帯 (令和4年5月末現在)

## マイナンバーカードをお持ちの方へ

6月30日からマイナポイント第2弾の予約・申込が始まります。マイナンバーカードを読み取れるスマートフォンで「マイナポータル」アプリを使って手続きできます。

健康保険証としての利用申込みや、公金受取口座の登録もスマホから手続きできます。スマホとマイナンバーカードのほか、対象となる決済サービスも必要です。

(→右のQRコードから対象サービスを探せます)

※受付開始直後は窓口が混み合う恐れがあります※



マイナンバーカード



暗証番号(4ケタ)



対象決済サービス



対象となるサービス

## 災害に備えましょう

※大雨や台風のシーズンになりました。いざという時のために早めに準備しましょう！

◎三重地区の避難所は次の14か所です

三重地域センター・三重地区市民センター・三重地区公民館・三重小学校(体育館)・畝刈小学校(体育館)・鳴見台小学校(体育館)・三重中学校(体育館)・多以良町公民館・沖平公民館・京泊公民館・東上公民館・西檜山公民館・東檜山公民館・三重田公民館

◎上記避難所やハザードマップは、市のホームページで確認できます。また、地域センターでも配布しています。

◎防災・気象情報の入手方法 = テレビ・ラジオ・防災行政無線のほか、防災メールを登録・市のホームページやSNS・Yahoo 防災情報など、防災情報の入手方法を事前に確認しておきましょう。

◎非常時の持ち出し品と備蓄品を準備しましょう。

※防災に関する問い合わせ = 防災機器管理室 095-822-0480※

## 市民大清掃

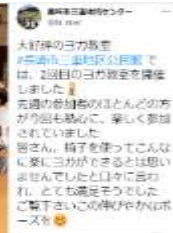
8月7日(日)は市民大清掃です。家の周りの道路・歩道・公園などの清掃を行いましょう。

※注意事項※熱中症対策を万全に行いましょう がけ・石垣など危険な個所での作業は避けましょう

ボランティアごみ袋(オレンジ色)を活用ください(地域センターに相談ください)

詳しくは、廃棄物対策課 095-829-1159

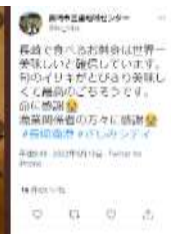
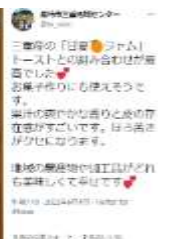
三重地域センターでは、地域情報をHPやツイッター、広報誌などで発信しています。



HP



Twitter

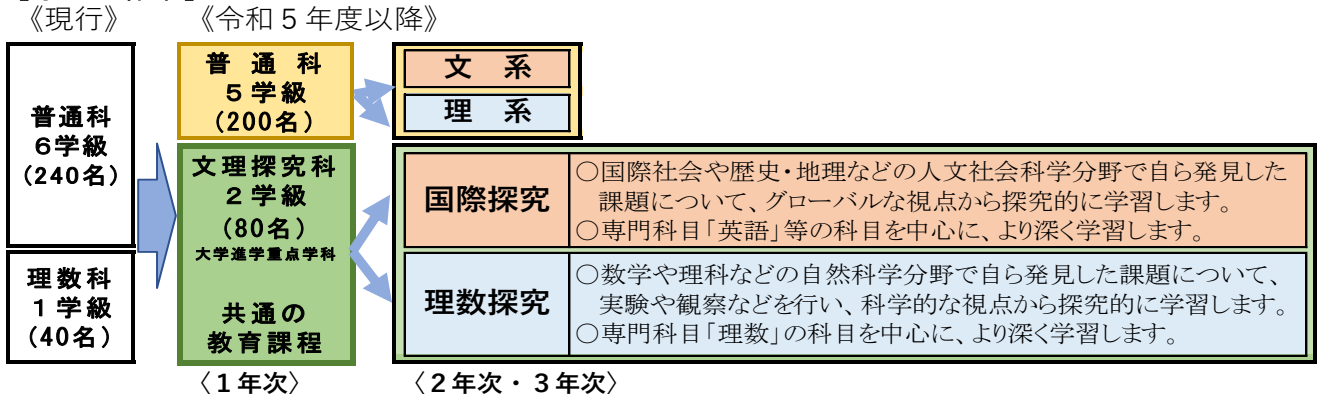


三重・外海・琴海の食と見どころ

## 令和5年度、長崎北陽台高校に文理探究科が設置されます！

文理探究科では、通常の授業に加えて、自ら設定した課題に仲間と協力して取り組む「探究型学習」を行うことで、各教科の基礎的な知識・技能だけでなく、思考力・判断力・表現力等を身につけ、自ら学び未来を創造する人材を育成します。

### 【学びの体系】



### 【文理探究科の特色ある活動】

- 難関大学の入試に対応した教育課程(専門科目「英語」「理数」等)の実施により高い学力を育成します。
- 大学等と連携・協働した探究型学習及び独自プログラム(研修旅行・課題研究発表会等)の実施による体験的な学びや発表機会を充実させることで、思考力・表現力・コミュニケーション能力等を育成します。



長崎県立長崎北陽台高等学校  
〒851-2127長崎県西彼杵郡長与町高田郷3672番地  
TEL:095-883-6844 URL:http://2.news.ed.jp/hokuyoudai-h/



## 三重地区史談会 Vol.6

三重地区史談会は、地区の歴史について調査研究を行い、史跡ごとに説明板や案内板の設置を進めています。今回は、「長崎市三重地区の郷土誌」記載の史跡の中からNo.20「芝戸山弁財天」を紹介します。弁財バス停から徒歩約10分です。(下記A地点までは車で乗り入れできます)

### 案内板より転記

大村藩の『郷村紀畝(陌)苅村』に、芝戸山に辨財天があると記されている。  
 辨財天は石祠で、ご神体は神幣、例祭は八月七日畝(陌)苅村中で祭っているとある。  
 芝戸山の広い境内に石祠が再建され、正面に奉寄進、右側面に明治34年旧8月吉日、左側面に平子十平、入江五郎七、清水勇治と記されている。  
 弁財天したには、畝刈村往還道が通り。南に下ったところが紫戸川で昔は徒歩渡りで、現在は弁財橋が架かっている。  
 なお、北へ向かうと西の脇川に、徒歩で渡ると間もなく大権現の宮(現在は熱田神宮という)である。  
 令和4年3月 三重地区史談会

